

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ
HONBETSU

2020
July
No.1101 7月

表紙 「道の駅西側花壇に花植え」
市街地婦人会の皆さん



Pick up

- ✿ 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ
- ✿ 狂犬病予防注射を行います
- ✿ 本別空襲の日 ~決して忘れてはならない7月15日~
- ✿ 地域おこし協力隊が行く Part 11

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言は、全国的に解除となり外出自粛の緩和や店舗の再開など日常生活が戻りつつありますが、都市部などでは限定的な感染者の発生が続いている状況で、引き続き感染防止に取り組む必要があります。

国では、新型コロナウイルス感染症専門会議からの提言を踏まえ、今後、皆さんに取り組んでいただきたい予防行動の例を示しました。感染拡大を防止するため、この「新しい生活様式」を一人ひとりが実践し、日常生活に取り入れていきましょう。

「新しい生活様式」とは？

感染予防につながる「人との会話や接触による感染を常に予防できる行動」を意識し、日常生活の中に定着させることです。

日常生活を営む上での基本的な生活様式の実践例

- ① こまめな手洗い、手指の消毒を行う
- ② せきエチケットの徹底
- ③ こまめに換気
- ④ 人との距離は最低でも1メートル空ける
- ⑤ 3密を避ける（密集・密接・密閉）
- ⑥ 毎朝の体温測定と健康状態に注意し、体調が悪いときは自宅で静養

※この他にも飲食時やさまざまな施設で、これらを配慮した対応が求められています。外出先では、それぞれの施設の決まりを守り節度ある行動をお願いします。



外出控え 密集回避 密接回避 密閉回避



換気 咳エチケット 手洗い

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

近年、気温の高い日が続き、熱中症による健康被害が数多く報告されています。特に今年の夏は、新型コロナウイルス感染症の影響でこれまでとは異なる生活環境のもと、「新しい生活様式」を実践しながらよりいっそう熱中症にご注意していただく必要があります。

特に、熱中症になりやすい高齢者、子ども、障がいのある人はより注意する必要があります。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ周囲の人からも積極的な声かけをお願いします。

ポイント1 暑さを避けましょう

・エアコンを活用する

ただし、一般的な家庭用エアコンは、空気を循環させるだけで換気を行っていません。冷房時でも窓の開放や換気扇による換気が必要です。

- ・屋外でも日陰や風通しの良い場所へ移動する
- ・暑い日や時間帯は無理のない範囲で活動する
- ・涼しい服装に心掛け、日傘や帽子を活用する



ポイント2 適宜マスクをはずしましょう

マスクは飛沫の拡散予防に有効です。ただし、マスクを着用していない場合と比べると、心拍数や呼吸数、体感温度が上昇するなど体に負担が掛かることがあります。気温や湿度の高い中でのマスク着用には注意しましょう。

- ・屋外で人との十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合は、マスクをはずす
- ・マスクを着用する場合には、負担のかかる作業や運動は避け、周囲の人との距離を十分取った上で、適宜マスクをはずす



ポイント3 こまめに水分補給をしましょう

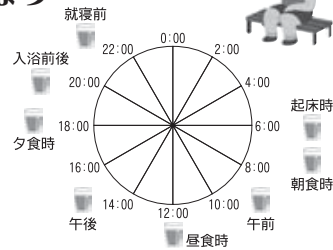
・のどが渇く前に水分補給をする

一般的に食事以外に1日当たり1.2リットルの水分摂取が目安とされています。コップ1杯（約150ミリリットル）1日8回を目安に。日常生活での水分補給なら水またはお茶で十分です。

・大量に汗をかいた時は塩分も補給する

経口補水液※は、体への吸収率が高く、体液に近づくよう調整されていますが、塩分も多く含まれていますので、塩分制限をされている人は主治医とご相談の上、ご利用ください。

※ナトリウムなどの電解質と糖分のバランスが良く配合された飲み物で、塩分が少なく糖分が多いスポーツドリンクとは異なります



ポイント4 日頃から健康管理をしましょう

- ・日頃から体温測定、健康チェックをする
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養する

町では、OCTV「ヒバ！本別」の番組内で、自宅できる運動を紹介しています。

ポイント5 暑さに備えた体づくりをしましょう

- ・暑くなり始めの時期から室内でのラジオ体操、ストレッチなど適度な運動を心掛け暑さになれるようにする
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度
- ・水分補給は忘れずに無理のない範囲で実施する

問い合わせ

本別町新型コロナウイルス感染症対策本部
事務局：本別町健康管理センター ☎ 22-2219

年1回は愛犬に予防注射を...

狂犬病予防注射を行います

町では、狂犬病予防注射を行います。愛犬には生涯1回の登録と、年1回の狂犬病の予防注射が法律で義務付けられています。下記の日程で実施しますので、都合の良い時間・場所です必ず受けてください。指定の場所は特
にありません。

予防接種を受けなければ、20万円以下の罰金が科せられる場合があります。

- 生後91日以上の犬は、登録・狂犬病予防注射を受けなければなりません
- 犬の死亡、所有者および所有者の住所の変更などがあつた場合は、役場住民課環境生活担当に届出をしてください
- 犬の体調が悪い場合には、事前に申し出てください

費用（予防注射済票交付手数料込）

◇ 登録済の犬 3240円

◇ 未登録の犬（新しく飼った犬など） 6240円（登録手数料含む）

■ 他市町村や動物病院などで予防注射を実施した場合は、予防注射実施済票を交付しますので、予防注射実施済証を持参の上、必ず役場住民課までお越しください。（交付手数料550円）

接種場所にお越しの際は、感染症拡大防止のためマスク着用などのせきエチケットに務め、かぜの症状（発熱、せきなど）がある場合はご来場を控えていただきますようご協力をお願いします。

令和2年度 狂犬病予防注射と犬の登録日程表

月日	時 間	場 所	住 所	
7月12日(日)	午前の部	9時35分～10時00分	勇足コミセン前	勇足元町
		10時10分～10時30分	前田自動車工業前	共栄1
		10時35分～10時50分	共栄会館前	共栄
		10時55分～11時10分	釧路トヨタ自動車本別営業所前	南4丁目
		11時15分～11時30分	本別森林事務所前	南3丁目
		11時35分～11時55分	みどり公園	緑町
	午後の部	13時10分～13時25分	ふれあい交流館前	向陽町
		13時30分～13時45分	東町中前建設社宅前	東町
		13時50分～14時20分	本別町役場前	北2丁目
7月14日(火)	午前の部	9時20分～9時30分	美里別中地区集会場前	美里別西中
		9時40分～9時50分	ラウンベ入口バス停前	美里別西上
		9時55分～10時05分	美里別郵便局隣	美里別西上
		10時10分～10時20分	美里別東上会館前	美里別東上
		10時30分～10時40分	渋谷茂様宅前	活込
		10時50分～11時10分	活込神社前	活込
	午後の部	11時15分～11時25分	森勢久保様宅前	新生
		13時15分～13時30分	月見台会館前	月見台
		13時35分～13時45分	旧拓農公民館跡	拓農
		13時55分～14時10分	明美会館前	明美
	14時15分～14時25分	小泉智行様宅前	清里	

月日	時 間	場 所	住 所	
7月15日(水)	午前の部	9時30分～9時40分	勇足東1会館前	勇足東1
		9時45分～10時00分	勇足東4会館前	勇足東4
		10時05分～10時15分	勇足東5会館前	勇足東5
		10時25分～10時40分	勇足西5会館前	勇足西5
		10時50分～11時05分	美帯地区農作業準備休憩施設前	美蘭別
		11時15分～11時25分	勇足西2会館前	勇足西2
	午後の部	11時30分～11時40分	勇足西4会館前	勇足西4
		13時30分～13時40分	旧押帯1会館前	押帯
		13時45分～14時00分	遠國公司様宅前	押帯
		14時05分～14時20分	押帯地区集会場前	押帯
14時30分～14時50分		上押帯地区農作業準備休憩施設前	上押帯	
	15時00分～15時10分	上方康浩様宅前	美蘭別	
7月16日(木)	午前の部	9時25分～9時35分	美里別東下1会館前	美里別東下1
		9時40分～9時50分	府川洋一様宅前	追名牛
		9時55分～10時05分	高一郎様宅前	追名牛
		10時15分～10時25分	奥仙美里会館前	奥仙美里
		10時30分～10時40分	仙美里2会館前	仙美里2
		10時50分～11時00分	西仙美里集会所前	西仙美里
		11時05分～11時15分	美里別高東会館前	美里別高東
	午後の部	11時20分～11時30分	J A 本別町肥料倉庫入口前	美里別東下2
		13時10分～13時20分	チエトイ神社前	チエトイ2
		13時25分～13時35分	負籠1会館前	負籠1
13時40分～13時50分		負籠2会館前	負籠2	
	13時55分～14時10分	勇足西1会館前	勇足西1	
7月19日(日)	午前の部	9時10分～9時25分	青田勝彦様宅前	弥生町
		9時30分～9時50分	新町公園	新町
		9時55分～10時10分	光仙寺前	栄町
		10時20分～10時40分	上本別生活館前	上本別
		10時50分～11時10分	役場仙美里出張所前	仙美里元町
		11時25分～11時35分	錦町児童公園	錦町
		11時40分～11時50分	本別町ふれあい多目的アリーナ前	山手町
	午後の部	13時00分～13時15分	北地区交流センター前	北8丁目
		13時20分～13時30分	清流公園	清流町
		13時40分～13時50分	高橋久敏様宅前	東本別
	14時00分～14時30分	本別町役場前	北2丁目	

問い合わせ

役場住民課環境生活担当 ☎22-8128
十勝農業共済組合本別家畜診療所 ☎22-2075



本別町・本別町獣医師会・十勝農業共済組合北部事業所本別家畜診療所

本別空襲

資料館企画展関連事業・ナガサキピースミュージアム連携事業

7月15日にシャッターを切ろう

「7・15 忘れないプロジェクト@ほんべつ」に参加してみませんか

7月15日の悲しみと、現在の平和な日常が戦争の歴史の上に成り立っていることを忘れないために、「あなたが見た7月15日」の写真を募集します。

★プロジェクト参加方法

- ①2020年7月15日の風景、家族、出来事など、テーマは何でも構いません。写真を1枚撮ってください
※スマートフォンで撮影してもOKです
- ②写真はA4程度のサイズでプリントして資料館へ郵送または持参いただくか、メールで送信してください
- ③いずれも住所・氏名・タイトル・平和へのメッセージ（ひとことでも可）を添えてください
- ④募集期間は、7月15日（水）から8月30日（日）まで

★応募写真展について

- ①お寄せいただいた写真は、資料館企画展「7・15忘れないプロジェクト@ほんべつ展」（9月15日～10月31日開催予定）において展示いたします
- ②企画展の際、おおまかな住所と氏名を写真に添えて展示しますが、お名前を出されたくない場合は、「匿名展示希望」として提出ください
- ③応募された写真は、返却いたしません。また、今後の事業において使用させていただく場合がありますので、ご了承ください

★長崎にも写真を送ろう

ナガサキピースミュージアムでは、原爆が投下された日のことを忘れないために、毎年「忘れないプロジェクト」を実施しています。「7・15忘れないプロジェクト@ほんべつ」にも協力いただきました。本別からも平和への思いを込めて、8月9日11時2分に写真を撮って届けましょう！

⇒問い合わせ：ナガサキピースミュージアム

〒850-0921 長崎市松が枝町7-15 E-mail: museum@nagasakips.com

問い合わせおよび送り先

本別町歴史民俗資料館

〒089-3334 本別町北2丁目 TEL/FAX 22-5112

E-mail: tosyok@town.honbetsu.hokkaido.jp (図書館)



ナガサキピースミュージアム提供
「忘れないプロジェクト」
～8月9日11時2分展」展示作品



1945年7月15日 空襲を受ける本別



2018年6月の本別

展示内容

- ◇忘れないプロジェクト
～8月9日11時2分展
(ナガサキピースミュージアム借用写真)
- ◇本別空襲を伝える(写真・マップ・実物)
- ◇軍馬補充部十勝支部(写真・実物)

本別空襲の日 決して忘れてほならない7月15日

太平洋戦争末期の1945（昭和20）年7月15日、本別町を襲った町史最大の惨事「本別空襲」。米軍機の爆撃により40人が死亡、279戸が全壊しました。被害者総数は1915人で、その被害は北海道で函館、室蘭、根室、釧路に次いで5番目。十勝では最大といわれています。
この日から75年が経過し、今や町内に戦争の傷跡を見つけるのも難しくなってきました。私たちは、空襲の歴史を忘れず、悲惨な戦争を繰り返さないよう後世に伝えていかなければなりません。

ほんべつ学びの日 祈風事業
資料館企画展

7月15日本別空襲を伝える
～戦後75年、あの日を忘れないために～

戦後・被爆から75年を迎える2020年夏。過去と現在を写真でつなぎ、平和の尊さを語り継ぎます。

期間 7月1日（水）～
8月30日（日）

会場 歴史民俗資料館
開催時間 火曜日から日曜日
午前9時～午後4時
※月曜日・祝日は休館

本別町戦没者・戦災死没者追悼式

とき 7月15日（水）

一般開放時間 追悼式終了後から
午後3時30分まで

※関係者のみで行う追悼式は午前10時から

例年ご遺族並びに関係者各位のご参加のもと実施しております。「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模等を変更し、ご遺族ならびに関係団体の代表者のみで執り行うこととなりました。

本別町では、日清・日露・第二次世界大戦の戦役で299人が戦死され、本別空襲において40人の尊い命が奪われています。

追悼式では、黙とう、追悼のことは、献花など犠牲者のご冥福をお祈りし、平和への誓いを新たにしています。町民の皆さんにおかれましては、黙とうを呼び掛けるサイレンが午前10時05分ごろに吹鳴されますので、一緒に黙とういただきますようお願いいたします。

追悼式終了後は午後3時30分まで追悼や献花の場として会場を一般開放することとしておりますので、開催中の資料館企画展と併せて多くの皆さんのご来場をお願いいたします。

問い合わせ先
保健福祉課 社会福祉担当
TEL 022-855000



昨年の追悼式

皆様からのご厚意 大切に使用させていただきます

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例
令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）
の運用状況をお知らせします

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例は、個性や魅力にあふれ、全国に発信できる「ふるさとづくり」を進めるための事業等に活用するべく平成18年度に創設し、制度運用から今年で14年が経過しました。この間、趣旨や目的をご理解いただき、絶大なご支援を賜りました皆さまに対し心からお礼を申し上げます。

令和元年度に寄付を頂いた口数は2万8500口、総額1億424万1千円で、これまでの累計は、口数6万4388口、総額3億2193万3002円となっております。

令和元年度の運用実績といたしましては、「福祉でまちづくり推進事業」として、保育料独自軽減事業（施設型給付費）に165万円、「本のまち・夢プラン事業」として、絵本作家のきくちき氏を招いての本のまち夢づくり講演会の開催に35万円、「町長が必要と認める事業」として、学校給食費多子世帯軽減事業に120万円、ドローン購入事業に37万7125円、リクライニング車いす購入に10万円で、合計2602万7125円の寄付金を活用させていただきました。



町老人ホームにリクライニング車いすを購入

保育料独自軽減事業



本のまち夢づくり講演会

令和2年度につきましては、「福祉でまちづくり事業」として、保育料独自軽減事業（施設型給付費）、就学前教育・保育施設給食費助成事業、福祉郵便送達運営費事業、介護人材確保対策事業、福祉車両購入事業に2750万円、「町長が必要と認める事業」として、学校給食費多子世帯軽減事業、観光イベント推進事業、乳幼児等医療費助成（独自軽減事業）、国際理解教育の充実事業等に4250万円、合計7000万円の寄付金を活用させていただきました。これからも、より良いまちづくりのために寄付金を有効に活用させていただきたいと考えておりますので「個性あるふるさとづくり」に多大なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

寄付項目	寄付口数	寄付金額（円）	項目比率（%）
福祉でまちづくり推進事業	8,695	43,475,000	41.7
消費者と生産者を結ぶ元気な農業推進事業	2,658	13,289,000	12.7
自然との共存・環境保全推進事業	2,560	12,796,000	12.3
平和祈念・平和教育に関する事業	421	2,105,000	2.0
本のまち・夢プラン事業	1,078	5,389,000	5.2
町長が必要と認める事業	5,438	27,187,000	26.1
合計	20,850	104,241,000	100.0

寄付項目	寄付口数	寄付金額（円）	項目比率（%）
福祉でまちづくり推進事業	24,795	123,975,000	38.5
消費者と生産者を結ぶ元気な農業推進事業	9,395	46,974,002	14.6
自然との共存・環境保全推進事業	8,598	42,986,000	13.4
平和祈念・平和教育に関する事業	1,368	6,840,000	2.1
本のまち・夢プラン事業	3,422	17,111,000	5.3
町長が必要と認める事業	16,810	84,047,000	26.1
合計	64,388	321,933,002	100.0

寄付者のお住まい	寄付者数（件）	地域別比率（%）
本別町内	4	0.1
道内他市町村	366	5.2
道外他市町村	6,686	94.7
合計	7,056	100.0

寄付者のお住まい	寄付者数（件）	地域別比率（%）
本別町内	122	0.7
道内他市町村	1,098	6.1
道外他市町村	16,772	93.2
合計	17,992	100.0

総務課 財務担当
022-8120

国民年金

国民年金保険料の
免除・納付猶予制度

その①

② 保険料を納めるのが経済的に難しいのですが、どうすればいいですか？
A 保険料の納付が免除、猶予される制度を活用することをお勧めします。

保険料免除制度

本人、配偶者、世帯主の前年所得が一定額以下の場合や失業した場合など、保険料を納めることが経済的に困難な場合、保険料の全額または一部が免除されます。

【対象となる所得の目安と保険料納付額】

所得の目安	免除の区分	納付額（月額）
57万円	全額免除	なし
93万円	3/4免除	4140円
141万円	半額免除	8270円
189万円	1/4免除	12410円

※単身世帯の標準的なモデルをもとに計算しています。

保険料納付猶予制度

50歳未満の人（学生以外）で、本人、配偶者それぞれの前年所得が一定額以下のとき、保険料の納付が猶予される制度です。

【対象となる所得の目安】
（扶養親族の数+1）×35万円+22万円

申請方法

【申請先】
住民課戸籍年金担当窓口または帯広年金事務所

【必要なもの】

- ・マイナンバーがわかるもの
- ・本人確認書類（運転免許証など）
- ・年金手帳または基礎年金番号通知書
- ・印鑑
- ・離職票等（失業を理由に申請する場合）
- ※申込月から2年1カ月前までさかのぼって手続をすることが可能です
- ※学生の人は「学生納付特例制度」を利用してください



帯広年金事務所
0155-25-8113
詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
022-8120
日本年金機構のホームページは
https://www.nenkin.go.jp/

その219

STOP! 不法投棄

不法投棄は重大な犯罪です!

町と町保健衛生組合では、毎年定期的に不法投棄パトロールを行っています。一部の心ない人による山林や道路沿い水路等への不法投棄が後を絶ちません。次世代に「美しいまちほんべつ」を引き継ぐために、町全体で不法投棄をさせない環境づくりに取り組みましょう。

不法投棄とは?

廃棄物(ごみ)をルールに従って適切に処理せず、山林や原野、空き地などに捨てたり埋めたりする行為です。不法投棄をした人(未遂を含む)には、5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金またはその両方(法人の場合は3億円以下の罰金)が科せられる場合があります。

※「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第25条から第34条」による



実際の不法投棄の状況

どうして不法投棄するの?

ごみを処分するには、国や市町村のルールに従って適正に分別・処理しなければなりません。しかし、「自分だけ良ければいい」「処理費用もつたない」などの自分勝手な理由でルールに従わず、山林や原野にごみを捨ててしまう人がいます。

不法投棄は私たちにどのような影響を与えるの?

不法投棄は美しい自然や地域の景観を壊すだけでなく、ごみから出る有害な物質が地中に浸透し、土地や地下水を汚染したり悪臭の原因となることもあります。ごみを捨てるのは簡単ですが、回収するのは大変です。さらに、元の自然を取り戻すことはとても難しく、撤去にはたくさんの方の労力と費用がかかります。



町と町保健衛生組合による回収

どんなものが不法投棄されるの?

不法投棄には、ルールに従わずにごみを捨てるすべての行為が該当します。代表的な例は次の通りです。

- ・路上にポイ捨てされるタバコの吸殻や空き缶
- ・人通りの少ない場所に捨てられる家庭ごみ
- ・家電や冷蔵庫、古タイヤや車のバッテリー



家庭ごみ



古タイヤ



テレビ

私たちは不法投棄を許しません!

今後も町と町保健衛生組合では、不法投棄パトロールを定期的に行います。また、不法投棄を未然に防ぐには、町民の皆さんの監視の目が有効な手段の一つです。



不法投棄パトロール



不法投棄防止看板の設置

不法投棄を見つけたら通報を!

不法投棄かなと思ったら、警察または住民課環境生活担当へ通報してください。また、次のような点に注意して通報いただくと幸いです。皆さんからの通報によって、より早い対応が可能となりますので、ご協力をお願いします。

- ・いつごろのお話ですか? (日時)
- ・おおよその場所はどこですか? (場所)
- ・どのようなごみが捨てられていますか? (投棄物の内容)
- ・車に書いてある会社名やナンバーはわかりますか?



本別警察署 22-0110
 住民課環境生活担当 22-8128
 通報および問い合わせ

HELLO 本別高等学校

校訓 創意実践

本高の教育活動について

1 38人が旅立つ… 令和元年度卒業式

新型コロナウイルスの感染症拡大による休業措置の中、3月2日(月)卒業証書授与式が行われました。卒業生と教職員のみでの式でしたが、生徒たちは久々に顔を合わせた仲間との話が尽きず、別れを惜しむようにでした。卒業生の皆さんのさらなる活躍を祈っています。



主な進路先

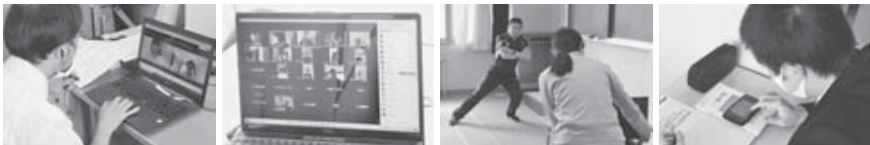
大 学：小樽商科、名寄市立、藤女子
北海道医療、駒澤、東洋
短 大：光塩女子、北翔大
専門学校：光塩調理製菓、北海道情報
公務員：本別町役場、札幌市消防局
就 職：大塚製薬工場、日本郵便、
本別農協、町社会福祉協議会

2 コミュニティ・スクール始動！

今年の4月から、本別高校はコミュニティ・スクールとしてスタートしました。「①高校と地域が一体となり、特色ある教育活動の推進に努める。②生徒の学校生活の充実と学校の魅力化の向上のため、地域との協働による課外活動の推進に努める。③地域を理解し愛着を持った人材を育成すると共に、高校が地域振興の核となるよう教育活動の推進に努める」という基本方針のもと、地域の皆さんの知恵やお力をお借りしながら、魅力ある学校づくりに取り組んでいきます。

3 休業中もがんばっています

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言により、4月20日(月)から臨時休業が1か月ほど続きました。その間、分散登校を実施し生徒の健康や学習状況を確認。4月末からは、ビデオ会議用アプリを利用してホームルームやオンライン授業に取り組みました。生徒は自宅に居ながら、パソコンやスマートフォンで授業中の連絡や家庭学習へのアドバイスを受けました。また、数学科ではYouTube(ユーチューブ)上で授業動画を配信し、問題の解き方を繰り返し見られるようにしました(生徒のみ限定配信)。このように、生徒の学びを保障するため、さまざまな取り組みに挑戦しています。



ホームページにさまざまな情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください

※右のQRコードをスマートフォンで読み込むと、ホームページが見られます



北海道本別高等学校

中川郡本別町弥生町49番地

TEL : 0156-22-2052 / 2068

http://www.honbetsu.hokkaido-c.ed.jp/

地域おこし協力隊が行く



Part 11

地域おこし協力隊の任期を終えて



移住セミナーでの本別の紹介

本別町に戻ってきてから3年が経ち、6月末で任期満了を迎え、地域おこし協力隊を退任することとなりました。私は、移住定住に興味があり、地域おこし協力隊の仕事に就きました。着任当初は手探りの状態で、本別町のことだけではなく、足寄町や陸別町と連携している「とかち東北部移住サポートセンター」の事務局員としての活動を覚えていくのが大変でしたが、近隣のまちのことも知ることができ、良い経験となりました。

この3年間、移住定住推進員として、首都圏での移住セミナーでは、相談者に本別を知ってもらうため、主にまちの紹介を担当しさまざまな移住相談に対応。また、本町でのためし暮らし体験者の受け入れや移住体験モニタープログラムの実施など、本町への移住者を一人でも増やしていくための活動に取り組みできました。

成果としては、あまり移住に結びつけないことができず、思うような結果にはなりませんでしたが、本町を含め3町に足を運んでいただけるように企画した移住体験モニタープログラムでは、移住セミナーや相談会で募集を行った結果、2年間で6組8人が来町しました。独自に3町を回る移住体験は他の町には無く、企画から運営までの仕組みを作れたことは一つの成果だと思っています。

その他には、移住相談に活用するため、移住サポートセンターのホームページに掲載している住宅や仕事情報を毎月定期的に変更しています。事業所の皆さんには突然のお願いにも関わらず、快く掲載を承諾していただくなど協力ありがとうございました。事務的な仕事も、今までの社会人生活であまり経験したことが無かったので、貴重な経験となりました。

着任直後に加入した商工会青年部では、ビア彩や豆まかナイトなどの行事にも参加し、充実した時間を過ごさせていただきました。事務局として携わった町内の若者が集う「若者の輪創造プロジェクト」では、各団体の皆さんや多くの若者と知り合いになっただけで、今後に活かしていければと思います。



移住体験プログラム参加者を囲んで

地域おこし協力隊として3年間、地域の皆さんには大変お世話になりました。退任後も本別で生活していく予定です。今後ともよろしくお願ひします。

企画振興課 地方創生推進室
〒221-8121
十勝東北部移住
サポートセンター
0156-22-0001
ホームページ
http://www.aknabi.net/

コミュニティ・スクールとしての第一歩 5/27

本別高校（近藤浩文校長）は今年度からコミュニティ・スクール（CS）を導入し5月27日、第1回学校運営協議会を開催しました。CSは学校運営協議会を通して保護者や地域住民の意見を学校運営に反映できる仕組みで、同校は14人の委員で構成された協議会を設置。この日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためビデオ会議方式で行い、基本方針と「とかち創生」「異校種間連携」「地域連携」の3つの部会を設置しての取組内容を確認しました。近藤校長は「この1年で望ましい運営体制を検討し、CSとして機能していく持続可能な体制の基礎を作りたい」と今年度の目標を述べました。



100歳おめでとうございます 町敬老祝い金の贈呈 5/30

向井次子さん（美里別高東）が100歳を迎えられるにあたり5月30日、高橋正夫町長から敬老祝い金が贈呈されました。次さんは大正9年に浦幌町川上でお生まれになり、昭和19年に故栄次郎さんと結婚し本別へ移住。農業に従事しながら3男1女を育て、孫10人、ひ孫16人に恵まれました。現在は、長男の征治さん夫婦、孫夫婦、ひ孫3人と同居しており、大きな病気もなく元気に生活しています。この日は次さんの子どもや親族など15人が自宅に集まってお祝いし、次さんは「みんなで祝ってくれることがとても嬉しい。長生きしてよかった」と喜びを語りました。



保護司の更生保護活動の拠点が開所 6/1

本別地区保護司会（北谷和雄会長）は6月1日、保護司の更生保護活動の拠点となる「本別地区更生保護サポートセンター」を北4丁目に開所しました。同会は池北三町という広い地域を担当するため、同センター設置後の運営方法等について約2年間検討を重ね、2月14日の臨時総会にて設置を決定。この日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、あいさつをのみの開所式を行いました。北谷会長は「行政機関・地域の皆さんと連携し、社会を明るくする運動の推進や罪を犯した人の立ち直り支援等に取り組む。また、経験の少ない保護司を養成する場としても利用を拡充していく」と話しました。



未来の新規就農を応援 6/5

町担い手育成センター（高橋正夫会長）が北海道立農業大学校で6月5日、新規参入者入門の授業を履修する学生に、同授業内で町の支援策などを説明しました。同センター事務局員がアンケート結果を基に新規就農の現状と新規就農するために必要なことを話し、未来の農業を担う学生に本別町で新規就農するまでの流れと支援策を伝えました。同センターの篠原順彦事務局長は「付加価値を付けるために一手間ではなく、もう一手間かけた農業を検討していただきたい」と目指してほしい農業の形を提案しました。



交通ルールを守って 6/9

仙美里小学校（東森誠記校長）が仙美里市街地で6月9日、交通安全指導員の協力のもと、全校児童を対象に交通安全教室を実施しました。児童玄関前で同指導員から歩道の歩き方や横断歩道の渡り方の指導を受けた児童たちは、教えてもらったことを確認しながら交通量の多い国道を実際に渡り、仙美里プロジェクトまで歩行練習を行いました。



牛乳で栄養と元気を 6/10

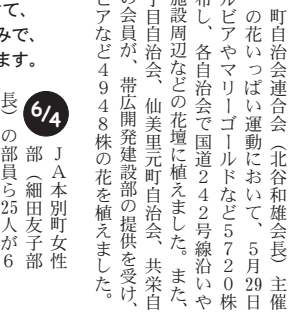
J A本別町（佐野政利組合長）と町酪農振興協議会（佐藤和幸会長）が6月10日、200ミリリットル入り牛乳386本と牛乳券940枚を町へ寄贈しました。新型コロナウイルス感染症の影響により牛乳・乳製品の消費が減退傾向にあることから、同組合が消費拡大として町内福祉施設と学校などに無償提供することを企画。佐野組合長は「厳しい情勢だが、牛乳を飲んで栄養と元気を取り戻し、乗り切っていこう」と話しました。



町中がたくさんの花でいっぱい

町内の自治会や各種団体などが5月下旬から6月中旬にかけて、町中にたくさんの花を植えました。華やかな花で彩られた街並みで、道行くドライバーや来町者、町民の皆さんの目を楽しませています。

5/29 町自治会連合会（北谷和雄会長）主催の花いっぱい運動において、5月29日にサルビアやマリゴールドなど5720株を配布し、各自治会で国道242号線沿いや公共施設周辺などの花壇に植えました。また、南4丁目自治会、仙美里元町自治会、共栄自治会の会員が、帯広開発建設部の提供を受けた、サルビアなど4948株の花を植えました。



6/4 J A本別町女性部（細田友子部長）の部員ら25人が6月4日、本別大橋から本別高校までの通学路にマリゴールドなど600株の花を植えました。花植えに先立ち、同青年部および関係機関の協力のもと、花壇の整備も行いました。



6/5 市街地婦人会（橋本文子会長）の会員25人が6月5日、帯広開発建設部の提供を受け、道の駅「ステラ★ほんべつ」西側花壇にペゴニアの花700株を植えました。



6/11 鎌田建設工業（鎌田健治社長）の社員10人が6月11日、地域貢献活動の一環として、町道共栄緑町通りにマリゴールドやペゴニアなど800株の花を植えました。



6月の情報を広報電算担当のあむらひなこから

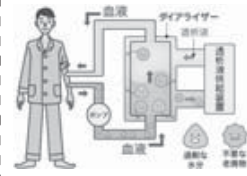
みんなの健康

431

人工透析という言葉を開いたことがありますが、「名前は知っているけれど」という人がほとんどではないでしょうか。今回は、①人工透析とは何か、②どのような治療を行うのか、についてお話しします。

「人工透析」をどうするか

①人工透析とは、腎臓の働きの一部を人工的に補う治療法です。健康な人であれば、血液をきれいにする作業や余分な水分などを体外に出す作業を、皆さんの意志に関係なく、腎臓が365日休まず行います。ところが、高血圧や糖尿病などの影響で腎臓の機能が低下すると、これらの作業が自力できなくなり、多くの人が人工透析という治療を受



けることとなります。②治療内容は、全身の血液をポンプで体外に取り出し、タイアライザという器材（人工膜）と透析液を使って余分な水分や老廃物を取り除ききれいになった血液を再び体内に戻す方法です。通院は週に3回、治療時間は4時間程度です。



本別町国民健康保険病院 人工透析室 臨床工学技士 佐藤 健太

が整っており、治療が必要になっても自宅から通うことが可能です。また、患者様が悩みを抱え込まないよう、透析室スタッフが本人とそのご家族をきめ細かくサポートしています。この治療は病気だけではなく、事故が原因で必要になる場合もあります。誰もが健康で過ごすことが一番ですが、いざというときに備え、頭の片隅に入れていただければ幸いです。

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんの愛に包まれてすくすくと育つてね！



南一丁目

荒木 寛太 (詩織ママ)



勇足西5 室伏 結乃 (結依ママ)



勇足西1

吉田 莉望 (沙有埋ママ)



栄町 石山 莉々子 (茉友ママ)



※写真は本人に了解を得た上で掲載しています。

ご寄付ありがとうございます

令和2年5月16日から6月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上に厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町国民健康保険病院指定
金500,000円 …… 徳島県 吉見勝之
- ★本別町学校給食共同調理場指定
給食食材 黒毛和牛ハンバーグ150g 330個
黒毛和牛肩肉スライス 50kg
…………… 勇足西5 加藤 剛司、加藤 寛治
- ★町内福祉施設、保育所、認定こども園、各小中学校指定
牛乳200ml 386本、牛乳贈答券 940枚
… 本別町農業協同組合 代表理事組合長 佐野 政利
本別町酪農振興協議会 会長 佐藤 和幸

- ★本別町教育委員会指定
各小中学校児童・生徒用マスク 500枚
…………… 本別スキー連盟 会長 小泉 勝利
- ★本別町特別養護老人ホーム指定
マスク 50枚 …… 匿名
- ★勇足へき地保育所指定
幼児用手づくりマスク 30枚
…………… 北4丁目 西村 文栄
- ★新型コロナウイルス感染症対策本部指定
マスク 2,000枚
…………… 中標津町 中央コンピューターサービス株式会社
代表取締役社長 真 籠 毅

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
計 金 4,371,500円 …… 293人

銀河ホップアイス

足寄町

「ワンびきをお手軽に！」

足寄町の特産品といえば、日本一大きなフキ「ワンびき」。一般的なフキに比べてアツクが少なく、みずみずしくて食感が良いのが特徴です。そんなワンフキを手軽に味わえるのが「ワンびき水煮」です。工場でポイル、あく抜きをしているため簡単に調理することが出来ます。道の駅等、町内のさまざまなお店でも販売しておりますのでぜひご賞味ください。



陸別町

日本一寒い町陸別町のマスク

陸別道の駅での限定販売

「じばれ君・つららちゃん」グッズに新商品が仲間入り

◎マスクotteキヤラクターのイラスト入り
布製スポーツマスク
「じばれ君・つららちゃんマスク」
880円(税込)

◎マスクotteキヤラクターのイラスト入り
大切なデータを保存します
「つららちゃんUSB」
32G 2728円(税込)

□お問い合わせ 陸別町観光物産館(道の駅オーロラタウン93りくべつ内) ☎2712012



本のある暮らし

232

戸籍のまど

お誕生

5月後半から
6月前半の
届出分

佐藤 未^み 怜^{れい} 恵^い 一^い 5/26 柏木町

吉田 舜^{しん} 豊^{とよ} 6/8 山手町

ご結婚

(佐藤 晴 哉^{せい がい} 南 1 丁目
遠藤 瑠 花^{る か} 池田 町

おくやみ

赤間 時彦^{ときひこ} 87歳 5/16 向陽町

小林 シゲ子^{しげこ} 90歳 5/21 勇足西4

鈴江 秋夫^{あきお} 95歳 6/2 勇足東3

鶴田 マサ子^{まさこ} 83歳 6/8 北3丁目

わたしたちのまち

前月比

人口 6,793人(-1)

男 3,333人(-1)

女 3,460人(±0)

世帯数 3,617戸(+8)

〔5月末日住民基本台帳〕

本、読もうぜ!

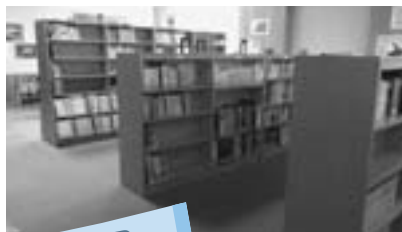
～本別中学校の取り組み～

6月1日から町内の各学校で通常授業が再開しました。本別中学校では、長いコロナ休業を利用して先生方が図書スペースを大改造。座席の配置替えや手を付けられずにいた本の整理などを一斉に行いました。図書館からも司書が出向き、先生と一緒に生徒の皆さんの「本との出会い」を応援しています。

BEFORE



情報が古くて使えない参考図書、大量の複本は思い切って処分。本が背ラベルの分類番号順にスッキリと並びました。



AFTER

読んでほしい100冊



5月の分散登校中、体育館に貸出コーナーを設置。小説あり、マンガあり、悩み相談あり…もちろん立ち読みOKです。まずは本に近づいて!



読書は心の栄養だ



本別中学校図書担当
加地 曜 教諭

町図書館から「中学生に読んでほしい100冊」を選書の上、貸出していただき、大変ありがたいと思っています。休業中の中学生からは「暇で仕方ないです」という声が多く、親御さんからは「ゲームばかりで困ります」という声をたくさん聞きました。今こそ本を読むチャンスです。読書を通して想像力を広げ、心を動かす感動体験が心豊かにしてくれます。多くの生徒が本を手に取り、読書の喜びを感じられればと思います。

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112